授業	授業科目動物形態機能学						実務経験のある教員等による授業科目					
必修	• 選択	必	修			時間	<b>引数</b>		136	時間		
科目	設置学科	愛	玩動物看護師	開講学	年		1 年次	学期		前期・後期		
担当	教員	栗	田 千裕 実務経	圣験: 動	物病院/	動物看	護師					
授業	の概要、科	目の	りねらい、到達目	標								
動物	の生命維持	のた	出組みと解剖学及	び生理学	どの基礎を	を知り	、動物体の	構造と機能	能について	学習する。		
			T			1						
授業	方法・形態		講義	ĵ.	<b>講師</b>							
授業	は講義を中	心と	こする。									
					授業	計画・	内容					
1	① 形態機能概論①					18	外部環境	からの防御	即			
2	形態機能	概詣	<del>à</del> 2			19	情報の受象	容と処理				
3	犬と猫の体の構造と機能①					20	感覚と情報	報伝達				
4	犬と猫の体の構造と機能②					21)	外部環境からの防御①					
5	鳥の体の構造と機能					22	外部環境からの防御②					
6	ウサギの体の構造と機能					23	情報の受	容と処理①	)			
7	産業動物の体の構造と機能					24	情報の受	容と処理②				
8	犬と猫の	骨格	各系			25	感覚と情報伝達①					
9	循環器の	構成	ζ			26	感覚と情報伝達②					
10	心臓の生	理的	的機能			27)	からだの支持と運動①					
(1)	抹消循環	器系	系の構造			28)	からだの支持と運動②					
12	血液の循	環の	調整			29	栄養の消化と吸収①					
13	リンパと	リン	/パ管			30	栄養の消化と吸収②					
14)	呼吸器の	構造	± <u>=</u>			31)	内臓機能の	の調整①				
15)	呼吸器系	の賃	<b>動き</b>			32)	内臓機能の	の調整②				
16	呼吸系の	病態	<b>集生理</b>			33	体液の調整	整と尿の生	E成①			
17)	① 血液 ② 体液の調整と尿の生成②											
評価	方法		出席状況、筆記記	試験を考	慮して反	<b></b>	評価する					
受講	生に対する	5		構造やタ	,称 得生	訓かど	シ学習すス					
	エに <i>刈り、</i> セージ	م	ロコエ <i>3</i> 4774マノ 午マノ	ᄪᄺ	四、 区目	11.0 € 7	∸ 1 ⊟ 1 °J c					
				1								
教科	書・参考書	• 資	資料・参考文献									
書名	:「動物看詞	隻コ	アテキスト 第1	1巻」	出版社	ファー	-ムプレス					

授業科目	動物繁殖学		実務経験のある教員等による授業科目				
必修・選択	必修	時間数		34 時間			
科目設置学科	愛玩動物看護師 開講学年		1 年次		学期	前期・後期	
担当教員	北川 智美		実務経験: ペットショップ/ショップスタッフ				

犬や猫の生殖器の構造と機能、性行動及び発情・交尾・妊娠・分娩の過程を学ぶ。ペットに適正な繁殖についても学習する。

授業計画・内容

授業方法・形態 講義 講師 単独

この科目では、一般的なコンパニオンアニマルである犬・猫を中心に講義を行う。

それぞれの繁殖生理を理解し、動物種による違いを学ぶ。

①	繁殖とは
2	生殖とその分類
3	生殖器の分類と仕組み①(雄の生殖器)
4	生殖器の分類と仕組み②(雌の生殖器)
5	生殖活動に関連するホルモン
6	性成熟と発情周期①(犬/周年繁殖動物)
7	性成熟と発情周期②(猫/季節繁殖動物)
8	排卵(自然排卵と交尾排卵)
9	自然交配と人工授精
10	妊娠(妊娠期間·妊娠診断)
11)	分娩①(出産準備・出産兆候)
12	分娩②(自然分娩)
13	分娩③(難産の徴候と対策)
14)	分娩④(帝王切開)
15	出産後の母犬の管理・新生子の管理
16	先天異常(形態的な奇形・遺伝性疾患)
17)	避妊と去勢

教科書・参考書・資料・参考文献 参考資料/必要に応じて資料を配布

①出席率·受講態度 ②定期試験結果

書名:最新版 愛犬の繁殖と育児百科/著者:小川雄一/出版社:株式会社誠文堂新光社/出版年:2013年

受講生に対するメー一般的なコンパニオンアニマルである犬や猫の繁殖生理を理解するという事は、望まな

い繁殖を防ぐ事にも繋がる。ペットオーナーに説明出来るように理解を深めて貰いたい。

書名:犬の繁殖と育児がわかる/著者:小川雄一/出版社:株式会社誠文堂新光社/出版社:2010年

書名:「動物看護コアテキスト 第1巻」 出版社 ファームプレス

評価方法

ッセージ

授業科目	動物病理学		実務経験のある教員等による授業科目						
必修・選択	必修	時間数	34		<b></b>				
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1 年次	学期		前期・後期			
担当教員	石垣恭平 実務経験:動物病院/獣医師、水野恵理子 実務経験: 研究所・動物病院/研究員・獣								
	医師								
授業の概要、科	授業の概要、科目のねらい、到達目標								
生理機能の障害	生理機能の障害からどのように病気が発生し、どのように変化し、どのように回復するかを理解する。また病								
亦の特徴の八粨	夕新 - 松木七汁 · ī	事明 田 新 な 珊 椒 小	z						

| 変の特徴や分類、名称、検査方法、専門用語を理解する。

ı	,,			- 0		
	授業方法・形態	講義	講師			

授業は講義を中心とする。

# 授業計画・内容

	以未用戶 「1在
1	動物病理学概論
2	細胞障害① 壊死とアポトーシス
3	細胞障害② 物質と沈着
4	循環障害① 充血とうっ血
5	循環障害② 血栓、止血、塞栓と栓塞
6	循環障害③ ショック
7	退行性病変
8	進行性病変
9	炎症① 変性と滲出
10	炎症② 炎症の種類
1	先天異常
12	免疫異常① 免疫反応と担当細胞
13	免疫異常② アレルギー型
<b>(14)</b>	腫瘍① 総論
15	腫瘍② 転移と佐生×
16	腫瘍③ 良性と悪性の違い
17	腫瘍④ 肉腫と癌腫
評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメ	将来動物病院で勤務する際に犬猫の病気を病理学的な側面から理解し、検査や処置の意
ッセージ	義を理解したうえで行うことができるようにする
*************************************	

# 教科書・参考書・資料・参考文献

書名:「動物看護コアテキスト 第3巻」 出版社 ファームプレス

授業科目 動物薬理学						実務経験のある教員等による授業科目					斗目	
必修	・選択	必	修			時間	引数			68	時間	
科目記	設置学科	愛	玩動物看護師	開講	学年		1	年次	学期		前期・後期	
担当	教員	栗	田千裕 実務経験:	動物	病院/動物	7看護	師					
授業の	の概要、科	目の	Dねらい、到達目標	票								
獣医師	師が処方す	る事	<b>薬剤について、その</b>	の薬理	単作用や取り	)扱い	、保存	方法	を習得し	、服薬指導	について学習する。	
						-						
授業	方法・形態		講義		講師							
授業は	は講義を中	心 S	こする。									
					授業記	十画・	内容					
1	総論 薬	理学	ととは			18	おも	な薬剤	刊の特性(	3		
2	総論 薬	理学	ととは			19	おも	な薬剤	刊の特性(	4		
3	総論 薬	理学	ととは			20	おもな薬剤の特性⑤					
4	薬物の剤	形(1	)			21)	おもな薬剤の特性⑥					
5	⑤ 薬物の剤形②					22	おも	な薬剤	別の特性(	7)		
6	薬物の投	与大	が法とその特徴①			23	おも	な薬剤	別の特性(	8		
7	薬物の投与方法とその特徴②					24	おも	な薬剤	別の特性の	9		
8	薬物の投	与夫	万法とその特徴③			25	おもな薬剤の特性⑩					
9	薬物の投	与夫	万法とその特徴④			26	おも	な薬剤	刊の特性(	11)		
10	薬物動態	1				27)	おもな薬剤の特性⑫					
11)	薬物動態	2				28	薬用量の計算①					
12	薬物動態	3				29	薬用量の計算②					
13	薬物に影	響を	4与える因子①			30	薬用量の計算③					
<u>(14)</u>	薬物に影	響を	と与える因子②			31)	薬用	量の語	十算④			
15	薬物に影	響を	と与える因子③			32	総ま	とめ(	D			
16	おもな薬	剤の	)特性(l)			33	総ま	とめの	2)			
17)	おもな薬	剤の	)特性②			34	総ま	とめ@	3)			
評価	方法		出席状況、筆記詞	式験を	考慮して成	え績を記	<u>ーーー</u> 評価す	る				
<b>受講</b>	 生に対す <sup>;</sup>	<u>ح</u>										
	生に刈り <sup>、</sup> セージ	م										
				_								
教科	書・参考書	• 資	資料・参考文献									
書名	書名:「動物看護コアテキスト 第3巻」 出版社 ファームプレス											

授業科目	動物感染症学			実務経験のある	る教員等に。	よる授業和	斗目 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十		
必修・選択	必修			時間数		102	2 時間		
科目設置学科	愛玩動物看護	師	開講学年	1 年次	学	期	前期・後期		
担当教員	水野 恵理子			実務経験: 研究	究所・動物症	· 院/研究	だ員・獣医師		
授業の概要、科	·目のねらい、至	達目標							
動物に感染する	微生物や寄生り	の特徴や生	生活環境、愿	感染経路、症状に	ついて学習	する。			
授業方法・形態	態 講義		講師						
授業は講義を中	心とする。								
			授業記	十画・内容					
① 感染・感染症とは									
2	感染症の	種類							
3	感染の成								
4	微生物と	病原性微生	上物						
5	細菌学								
6	細菌性原	染症①							
7	細菌性原	染症②							
8	ウイルス	学							
9	ウイルス	性感染症①	D						
10	ウイルス	性感染症②	2)						
11)	真菌と真	菌性感染症	Ē						
12	原虫と原	Ė							
13	寄生虫学								
14	内部寄生虫性感染症①								
15	内部寄生	虫性感染症							
16	(B) 外部寄生虫性感染症①								
17	外部寄生	虫性感染症	Ē2						
評価方法	出席状況	L、筆記試願	・ 検を考慮して	て成績を評価する					

受講生に対するメ 感染性微生物の特徴を理解し、感染経路、発生機序、予防法を学ぶ。その大切さを飼い

教科書・参考書・資料・参考文献

ッセージ

書名:「動物看護コアテキスト 第3巻」 出版社 ファームプレス

主に伝えられるようにする。

授業科目	動物	<b>勿看護学概論</b>		実務経験のある教員等による授業科目				
必修・選択	必何	多		時間数	68	3 時	<b>計</b> 間	
科目設置学科	愛牙	元動物看護師	開講学年	1 年次	学期		前期・後期	
担当教員	遊	座 晶子		実務経験: 動物症	· 院/動物看護	師		
授業の概要、科	目の	ねらい、到達目標	票					
小動物医療にお	ける	動物看護師の職場	或を確立するた	め多岐にわたる獣医	師の業務を理解	屛し、	動物看護技術を	
習する。								
授業方法・形態	282	講義	講師	単独				
講義の授業を中	心と	する。						
				計画・内容				
<u> </u>		動物看護の基						
2		動物看護の基						
3		動物看護の基	基本概念③					
4	動物看護の基本概念④							
5	動物看護の基本概念⑤							
6		動物看護の基	基本概念⑥					
7		動物看護の携	是供体制①					
8		動物看護の携	是供体制②					
9		動物看護の携	是供体制③					
10		動物看護の携	是供体制④					
11)		動物看護の携	是供体制⑤					
12		動物看護の携	是供体制⑥					
13		愛玩動物看護	護師の社会的 かんこう	立場①				
<b>(14)</b>		愛玩動物看護	護師の社会的 かんこう	立場②				
15		愛玩動物看護	護師の社会的 かんこう	立場③				
16		愛玩動物看護	護師の社会的 かんこう	立場④				
17)		愛玩動物看護	護師の社会的1	立場⑤				
評価方法		①出席率・受請	<b>紫</b> 態度 ②定	期試験結果				
受講生に対する	るメ	獣医師の業務を	と知ることで、	動物看護師として、	または動物に摂	<b>集わる</b>	る者としての知識	
ッセージ		技術を身に付け	ける。					
	7/5-	 料・参考文献		 公要に応じて資料を酉	7-4-			

	動物医療関連法規		実務経験のある教員	等による授	業科目					
必修・選択	必修		時間数	34	時間					
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1 年次 学期 前期・後期							
担当教員	水野恵理子		実務経験: 動物病院・研究所/獣医師、研究員							
授業の概要、科目	目のねらい、到達目	漂								
動物看護師が行う	獣医療関連業務と	それを取りまく活	去律の仕組みを理解し、	、法令順守の	精神と動物関連の法令					
を学習する。										
授業方法・形態	講義	講師	単独							
講義の授業を中心	いとする。									
			計画・内容							
(18)	動物医療関連									
<u>(19</u>	法律に基礎知識									
20	動物にかかわる	 る法規①								
21	動物にかかわる									
22	動物にかかわる法規③									
23	獣医師法①									
24	獣医師法②									
25	愛玩動物看護師	<b>師法①</b>								
26	愛玩動物看護師	师法②								
27	狂犬病予防法(	<u> </u>								
28	狂犬病予防法(	2)								
29	家畜伝染病予	防法								
30	愛玩動物用飼料	料の安全性の確係	Rに関する法律							
31	動物の愛護及び	び管理に関する法	法律①							
32	動物の愛護及び	び管理に関する法	法律②							
33	身体障碍者補助	助犬法								
34	条約関連(ラ.	ムサール条約、ワ	フシントン条約)							
評価方法	①出席率・受調	①出席率·受講態度 ②定期試験結果								
立 誰 4 1ヶ 4 十 7	メ動物関連の法征	津等を知ることで	で、看護師として、ま7	たは動物に携	わる者としての常識を					
受講生に対する	身に付ける	動物関連の法律等を知ることで、看護師として、または動物に携わる者としての常識を 身に付ける。								
文碑生に刈りつ	3 (0111) 3.									
		参考資料/必	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -							

	l				1						
授業科目	公务	<b></b>			実務経験のある	る教員等に。	よる授業を	科目			
必修・選択	必修	必修			時間数		68	時間			
科目設置学科	愛玩	元動物看護師	ŀ	開講学年	1 年次	学	:期	前期・後期			
担当教員	水里	图 恵理子			実務経験: 研究所・動物病院/研究員・獣医師						
授業の概要、科	目の	ねらい、到達目標	票								
公衆衛生の基本的な考え方を理解し、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生などについて学習する。											
授業方法・形態	授業方法・形態 講義 講師										
授業は講義を中心とする。											
				授業計	・画・内容						
1		公衆衛生学 棋	死論								
2		人獣共通感染症	E 相	无論							
3	③ 人獣共通感染症の伝播様式と予防対策										
4		動物由来の主な	単人に	犬共通感染症							
5		ウイルスによる	人兽	犬共通感染症	1)						
6		ウイルスによる	人兽	<b>犬共通感染症</b>	2						
7		ウイルスによる	人兽	<b>犬共通感染症</b>	3						
8		細菌による人	大共证	通感染症①							
9		細菌による人	大共证	通感染症②							
10		細菌による人	大共证	通感染症③							
(1)		真菌による人	大共证	通感染症①							
12		真菌による人讐	大共证	通感染症②							
13	③ 寄生虫による人獣共通感染症①										
<u>(14)</u>	寄生虫による人獣共通感染症②										
15	滅菌について										
16		消毒について									
17)	動物防疫										
評価方法		出席状況、筆記	己試懸	食を考慮して	成績を評価する						

受講生に対するメ 将来動物病院で勤務する際に衛生面で注意するべきことを理解し、飼い主への飼育・衛

教科書・参考書・資料・参考文献

ッセージ

書名:「動物看護コアテキスト 第3巻」 出版社 ファームプレス

生管理指導に活かすように学習する。

科目設置学科	必修		1		実務経験のある教員等による授業科目					
			時間数	34	時間					
担当教員	愛玩動物看護師	開講学年	1 年次	学期	前期・後期					
	菅谷 花歩				·					
授業の概要、科目	目のねらい、到達目	票								
人間と動物の関係	系の歴史を理解し、)	人間と動物の関係	性と動物介在療法な	どを学習する。	0					
授業方法・形態	講義	講師								
授業は講義を中心	ごとする。			·						
		授業計	·画・内容							
1	人間と動物との	の関係の起源								
2	動物介在の歴史	史 海外								
3	動物介在施設の	の歴史								
4	乗馬療法の歴史									
5	動物介在についての実験と結果									
6	動物介在の歴史	史 日本								
7	動物介在の分類	Į į								
8	世界の組織①	(TDI, SCAS, A	AFIRAC)							
9	世界の組織②	(PetPartners 協	会)							
10	IAHAIO につい	ハて								
(1)	「人と動物に関	関する国際会議」	の歴史①							
12	「人と動物に関	関する国際会議」	の歴史②							
13	日本の組織(J	(AHA 他)								
<u>(4)</u>	介在活動等に見	用いる動物① 犬								
<u>(15)</u>	介在活動等に見	用いる動物② 猫								
16	介在活動等に見	用いる動物③ 鳥	、ウサギ 他							
17)	動物が及ぼする	動物が及ぼす心理的・生理的・社会的効果								
評価方法	出席状況、筆記	記試験を考慮して	成績を評価する							
受講生に対する	メー人間の医療に対	おいても動物が携	わる機会が増えたり	(動物介在療法	生)、特定施設の人々					
ッセージ	生活の質を上げ	げることに動物が	求められることもあ	ります(動物)	介在活動)。					

書名:「動物看護コアテキスト 第6巻」 出版社 ファームプレス

授業和	授業科目生命倫理・動物福祉					実務経験のある教員等による授業科目							
必修	・選択	必	修			時間	引数			34	時間		
科目記	设置学科	愛	玩動物看護師	開講	学年		1	年次	学期		前期・後期		
担当	教員	遊	座 晶子 実務紹	<b>E験</b> : 重	协物病院/	動物看	護師						
授業の	の概要、科	目の	りねらい、到達目標	標									
動物質	愛護や動物	福祉	止の発展を学び、	動物関	連法規や丿	(との	関りか	ら動	物福祉へ	の精神を学	- 習する。		
						_							
授業	方法・形態		講義		講師								
授業は講義を中心とする。													
授業計画・内容													
1	「福祉」	その	言葉の意味			18	動物	福祉の	の考え方				
2	動物福祉	の暦	<b>型</b> 史①			19	動物	福祉の	の考え方	2			
3	動物福祉	の暦	<b>型</b> 史②			20	動物	福祉の	の考え方	3			
4	動物福祉	の歴	<b>E</b> 史③			21)	伴侶動物の福祉①						
(5)	日本にお	ける	5動物福祉①			22	伴侶!	動物の	の福祉②	1			
6	日本にお	ける	5動物福祉②			23	伴侶!	動物の	の福祉③	1			
7	日本にお	ける	動物福祉③			24	動物	病院に	こおける	福祉①			
8	5つの自	曲(1	)			25	動物	病院に	こおける	福祉②			
9	5つの自	由②				26	動物病院における福祉③						
10	HAB の認	図識	1)			27)	産業動物の福祉①						
(1)	HABの認	忍識	2			28	産業動物の福祉②						
12	HAB の認	図識	3			29	産業動物の福祉③						
13	生活の質	の諸	<b>忍識①</b>			30	実験動物の福祉①						
<u>(14)</u>	生活の質	の診	R識②			31)	実験!	動物の	の福祉②	1			
15	生活の質	の診	<b>Z識</b> ③			32	実験!	動物の	の福祉③	1			
16	環境エン	リッ	ッチメント①			33	野生!	動物の	の福祉①	ı			
17)	環境エン	リッ	ノチメント②			34	野生	動物の	の福祉②	l			
評価	 方法		出席状況、筆記記	試験を	 考慮して成	え績を記	<u> </u> 評価す	る					
受講生に対する													
メッ	セージ												
教科	書・参考書	• 🖟	資料・参考文献										
書名	教科書・参考書・資料・参考文献 書名:「動物看護コアテキスト 第 1 巻」 出版社 ファームプレス												

授業科目	動物行動学		実務経験のある教員等による授業科目						
必修・選択	必修		時間数		34 時間				
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1 年次		学期	前期・後期			
担当教員	栗田 千裕 実務経験:	動物病院/動物	看護師						
授業の概要 科目のわらい 到達目標									

動物の行動について、特に犬の習性について学習する。

授業方法・形態 講義 講師

授業は講義を中心とする。この授業で学んだことを活用しながら、日々のパートナードッグとの接し方に結び つけて経験を積んでいく。

	授業計画・内容
1	犬とはどんな動物か (習性と本能)
2	リーダーシップの必要性と方法
3	子犬期の接し方①
4	子犬期の接し方②
5	犬の五感
6	しつけの意義
7	犬の性格、性質に合ったトレーニング方法
8	馴致
9	分離不安①原因と症状
10	分離不安②予防と対処
(1)	犬の表現①吠え声
12	犬の表現②表情
13	大の表現③ボディーランゲージ
14)	カーミングシグナル
(15)	犬の攻撃性の原因別分類
16	権勢症候群の予防法
17	権勢症候群の対処法
評価方法	学期末試験の内容と出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメ	この授業では『犬をトレーニングするためには、まず犬の事を理解すること』をテーマ
ッセージ	に学んでいく。そもそも犬とはどんな生き物なのか?を学ぶ事で、人も犬も無理なくト
	レーニングを行えるようになる。

教科書・参考書・資料・参考文献 教科書

『日本ケンネルカレッジビジネス講座 訓練オリジナルテキスト』

監修:一般社団法人日本キャリア教育技能検定協会 学校法人つくば国際ペット専門学校

書名:「動物看護コアテキスト 第2巻」 出版社 ファームプレス

授業和	科目  比	<b>之</b> 較動物学		実務経験のある教員等による授業科目							
必修・	選択 必	修			時間数		68	時間			
科目設置	置学科 愛	<b>於玩動物看護師</b>	開講学年		1 年次 学期 前期・後期						
担当	教員 水	:野恵理子		実務経験:研究所・動物病院/研究員・獣医師							
授業の概	既要、科目の	のねらい、到達目標									
動物が生	<b>上息する環</b> り	竟等を産業・実験・	野生・展示の	観点か	ら学習する。						
授業方	法・形態	講義	講師								
授業は講	構義を中心。	とする。	<b>-</b>		1						
			授業	計画・	内容						
① <b></b>	物物の種類	頁と特性①		35	実験動物	18					
② 重	物物の種類	頁と特性②		36	野生動物①						
③ 產	E業動物(Î	)		37	野生動物	12					
④ 産	産業動物②			21)	野生動物③						
⑤ 産	産業動物③			22	野生動物	14					
⑥ 產	<b>E業動物</b> ④			23)	野生動物	(5)					
⑦ 蘑	E業動物(5			24)	野生動物	16					
⑧ 產	E業動物®			25	野生動物⑦						
9 產	E業動物(7			26	野生動物	18					
⑩ 蘑	産業動物®			27)	展示動物	11					
① 第	寒験動物①			28	展示動物②						
12	寒験動物②			29	展示動物	13					
① 第	寒験動物③			30	展示動物	14					
_	<b>ミ験動物</b> ④			31)	展示動物	_					
	ミ験動物(5			32	展示動物						
	寒験動物⑥			33	展示動物	1(7)					
⑪ 第	<b>ミ験動物</b> ⑦			34	展示動物	18					
評価方法	Ė	学期末試験の内容	と出席状況、	受講態』	度を考慮して	て成績を評価	まする。				
受講生は	に対する	様々な環境にいる	動物の歴史や	現状を	———— 知ることで、	人間にと	っての有	 「用性と存在意義が分			
メッセー	ージ	かります。									
教科書・	・参考書・う	資料・参考文献	教科書・参え	<b>香書</b>							
書名:「	動物看護コ	アテキスト 第2		ファー	ームプレス						

授業						実務経験のある教員等による授業科目							
必修	・選択	必	修			時間	間数		68	時間			
科目	設置学科	愛	玩動物看護師	開請	<b>孝学</b> 年		1 年初	学期		前期・後期			
担当	教員	遊	座晶子  実務	务経験	:動物病院	/動物	<b>力看護師</b>						
授業の	の概要、科	目の	つねらい、到達目	標									
健常	な動物に必	要な	よ日常ケアと適正	飼育力	が法を理解し	、訂	正飼育指導	、説明方	法を学習す	- る。			
授業	方法・形態		講義		講師								
授業は講義を中心とする。													
授業計画・内容													
1	愛玩動物	n O	飼養①			18	災害危機	幾管理と	支援②				
2	愛玩動物	ŋO)	飼養②			19	災害危機	幾管理と	支援③				
3	愛玩動物	<b>カ</b> の	飼養③			20	災害危機	幾管理と	支援④				
4	愛玩動物	<b>カ</b> の	飼養④			21)	災害危機管理と支援⑤						
5	愛玩動物	<b></b> カの	飼養⑤			22	災害危機	幾管理と	支援⑥				
6	愛玩動物	<b>カ</b> の	飼養⑥			23	災害危機	幾管理と	支援⑦				
7	愛玩動物	<b>カ</b> の	飼養⑦			24)	災害危機	幾管理と	支援⑧				
8	愛玩動物	70	飼養⑧			25)	動物愛語	<b>嬳管理行</b>	政①				
9	適正飼養	ŧO)	推進①			26	動物愛護管理行政②						
10	適正飼養	ŧO)	推進②			27)	動物愛護管理行政③						
11)	適正飼養	ŧO)	推進③			28	動物愛護管理行政④						
12	適正飼養	ŧσ	推進④			29	動物愛護管理行政⑤						
13	適正飼養	ŧσ	推進⑤			30	動物愛護管理行政⑥						
14)	適正飼養	ŧO)	推進⑥			31)	動物愛語	<b>嬳管理行</b>	政⑦				
15	適正飼養	ŧO)	推進⑦			32)	動物愛語	<b>嬳管理行</b>	政8				
16	適正飼養	ŧσ	推進⑧			33	動物愛語	<b>嬳管理行</b>	政9				
17)	災害危機	後管	理と支援①			34)	動物愛記	<b>嬳管理行</b>	政⑩				
評価	方法		出席状況、筆記記	試験を	考慮して成	え績を	評価する						
受謙	 生に対する	5	愛玩動物の品種の	の特性	を理解し	それ.	ぞれの適正	飼育方法	を学んでいる	 きます。			
受講生に対する 愛玩動物の品種の特性を理解し、それぞれの適正飼育方法を学んでいきます。 メッセージ													
			endol do de com	1						_			
教科	教科書・参考書・資料・参考文献												
書名	:「動物看護	隻コ	アテキスト 第6	3巻」	出版社	ファー	-ムプレス						

授業科目	動物愛護・適正飼養	関連法規	実務経験のある教員等による授業科目							
必修・選択	必修		時間数	34 ₽	寺間					
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1 年次	学期	前期・後期					
担当教員	水野恵理子	実務経験: 研	「究所・動物病院/研究	究員・獣医師						
授業の概要、科目	目のねらい、到達目	票								
ペットとしての動	動物の特性を見極める	こうえでの飼養力	i法を法律、条約等に	沿って学びまっ	す。					
	T									
授業方法・形態		講師								
授業は講義を中心	ひとする。									
			十画・内容							
9		同養の基本概念	_							
100		司養の基本概念								
(1)		愛護・適正飼養の基本概念③								
12		愛護・適正飼養の基本概念④								
(13)		同養関連行政法	· -							
<u>(14)</u>		同養関連行政法	<u> </u>							
15		同養関連行政法	-							
16		同養関連行政法	· -							
9	社会福祉行政	女・環境衛生法	規①							
10	社会福祉行政	女・環境衛生法	規②							
(1)		女・環境衛生法								
12	社会福祉行政	女・環境衛生法	規④							
<u>(13)</u>		<b>引する法律・条</b>								
<u>(14)</u>	野生動物に関	<b>引する法律・条</b>	約②							
<u>(15)</u>		<b>引する法律・条</b>								
16	野生動物に関	<b>引する法律・条</b>	約④							
(f)	野生動物に関	<b>引する法律・条</b>	約5							
評価方法	学期末試験の	内容と出席状況、	受講態度を考慮して原	成績を評価する	5.					
受講生に対する	, ,									
ッセージ										
教科書・参考書	<u></u> ・資料・参考文献	教科書								
———— 書名 :「動物看護	コアテキスト 第2		ファームプレス							

授業科目	動	物生活環境学			実務経験のある	る教員等に	こよる授 <sup>達</sup>	業科目
必修・選択	必				時間数		34	時間
科目設置学科	愛	玩動物看護師	厚	<b>昇講学年</b>	1 年次		学期	前期・後期
担当教員	北	川智美	実務紹	圣験: ペット	ショップ/ショ	ップスタ	ッフ	
授業の概要、科	目の	つねらい、到達目	標					
動物が生活する	環境	きや現代において:	増加し	ているペッ	トツーリズムに	ついて学	ぶ。	
授業方法・形態	200	講義		講師				
授業は講義を中	心と	さする。			1		l	
				極業到	-画・内容			
		飼養環境整備	借①	汉未印	回 * F 1 合			
<u>***</u> (18)		阿養環境整化						
<u> </u>		飼養環境整備						
20		ペットツー		ムとドッグ	· ラン①			
21		ペットツー						
22		ペットツー	リズム	ムとドッグ	ラン③			
23		保護収容施調	20					
24		保護収容施設	党②					
9		保護収容施設	23					
10		教育・訓練!	施設()	D				
11)		教育・訓練が	施設②					
12		教育・訓練が	施設(3	3)				
13		動物介在教育	育施討	Ţ( <u>)</u>				
<u>(14)</u>		動物介在教	育施討	<u> </u>				
15		動物介在教	育施設	<u>7</u> 3				
16		飼育のマナー	ーとり	リスク対応				
17)		飼育のマナー	ーとり	リスク対応	<u> </u>			
評価方法		学期末試験の	内容と	出席状況、	受講態度を考慮	して成績	<u></u> を評価す	<u></u> る。
受講生に対する	るメ							
ッセージ								
教科書・参考書	• 資	 賢料・参考文献	教	科書				
		アテキスト 第6	 ; 巻」	出版社	ファームプレス			

授業	科目	愛	:玩動物学	)学				実務経験のある教員等による授業科目						
必修	・選択	必	修			時間	間数			68	時間			
科目	設置学科	愛	:玩動物看護師	開請	<b>孝学</b> 年		1	年次	学期		前期・後期			
担当	教員	菅	谷花歩											
授業	の概要、科	目の	りねらい、到達目	標										
愛玩!	動物の歴史	とお	品種を学習する。											
	でかった													
授業	方法・形態		講義		講師									
授業は講義を中心とする。														
授業計画・内容														
1	歴史と品	1種				18	愛玩	動物	の飼養	管理②				
2	歴史と品	1種	(2)			19	愛玩	動物	の飼養	管理③				
3	歴史と品	1種	<u>i</u> 3			20	愛玩	動物	の飼養	管理④				
4	歴史と品	1種	<u>i</u> 4			21)	愛玩	動物	の飼養	管理⑤				
(5)	歴史と品	1種	<u>i</u> (5)			22	愛玩動物の飼養管理⑥							
6	歴史と品	1種	<u>i</u> 6			23)	愛玩	動物	の飼養	管理⑦				
7	歴史と品	1種	<u>i</u> (7)			24)	愛玩	動物	の飼養	管理⑧				
8	歴史と品	1種	<u>i</u> (8)			25)	動物の基本的な取扱い①							
9	使役動物	h(I	)			26	動物の基本的な取扱い②							
10	使役動物	<b>h</b> 2	)			27)	動物の基本的な取扱い③							
(1)	使役動物	<b>h</b> 3	)			28	動物の基本的な取扱い④							
12	使役動物	<b>h</b> 4	)			29	動物の基本的な取扱い⑤							
13	使役動物	<b>h</b> (5)	)			30	動物の基本的な取扱い⑥							
14)	使役動物	<b>76</b>	)			31)	動物	の基	本的な	取扱い⑦				
15)	使役動物	<b>h</b> 7	)			32	動物	の基	本的な	取扱い⑧				
16	使役動物	<b>h</b> 8	)			33	動物	の基	本的な	取扱い⑨				
17)	愛玩動物	カの	飼養管理①			34)	動物	の基	本的な	取扱い⑩				
評価	 方法		出席状況、筆記	試験を	 : 考慮して成	え績を	評価する	る						
受講	生に対す:	2												
受講生に対する メッセージ														
教科	書・参考書	• 貨	資料・参考文献											
書名	:「動物看詞	隻コ	アテキスト 第	6 巻」	出版社	ファー	ームプロ	ノス						

授業和	計目	動物内科看護学					実務経験のある教員等による授業科目						
必修	・選択	必	修			時間	間数			34	時間		
科目記	設置学科	愛	玩動物看護師	開請	<b></b>		2	年次	学期		前期・	後期	
担当	教員	遊	座 晶子 第	実務経	験:動物病	院/重	物看言	護師					
授業の	の概要、科	目の	つねらい、到達目	標									
内科	診療で必要	논	られる動物看護師	として	ての知識と後	と割に	ついて	学習す	<b>上</b> る。				
授業	授業方法・形態 講義 講師 講師												
授業は講義を中心とする。													
授業計画・内容													
1	① 動物疾病看護学概論①							道系疾	悪①				
2	動物疾病	看護	学概論②			19	肝胆	道系疾	:患②				
3	口腔内疾	患				20	膵臓	疾患					
4	耳の疾患					21)	泌尿器系疾患①						
(5)	目の疾患						泌尿	:器系疾	:患②				
6	皮膚の疾患						泌尿	器系疾	:患③				
7	循環器疾	患(1	)			24	内分	泌疾患	1				
8	循環器疾	患②	)			25)	内分泌疾患②						
9	呼吸器疾	患(1	)			26	内分泌疾患③						
10	呼吸器疾	患②	)			27)	生殖器系疾患①						
11)	呼吸器疾	患③	)			28	生殖器系疾患②						
12	血液・造	血器	<b>除患①</b>			29	生殖	器系疾	:患③				
13	血液・造	血器	条焦②			30	整形	外科疾	患①				
<u>(14)</u>	血液・造	血器	条焦③			31)	整形	外科疾	[患②				
15	消化器疾	患(1	)			32)	神経	系疾患					
16	消化器疾	患②	)			33	神経	系疾患	(2)				
17	消化器疾	患③	)			34)	神経	系疾患	(3)				
評価	評価方法 出席状況、筆記試験を考慮して成							`る					
受講	<u></u> 生に対する	3	チーム獣医療で	必要な	よ病気や診断	「名に <sup>・</sup>	ついて	学習す	 トる。治り	寮方針や動	物看護し		
メッセージ に必要な知識を学び、看護が実践												. , , ,	
		Y.F							-				
教科	書・参考書	• 貨	資料・参考文献										

書名:「動物看護コアテキスト 第4巻」 出版社 ファームプレス

書名:「伴侶動物解剖生理学」 出版社 緑書房

授業和	業科目 動物外科看護学						実務経験のある教員等による授業科目						
必修	・選択	必	修			時間	引数		68	時間			
科目記	設置学科	愛	玩動物看護師	開請	<b>孝学</b> 年		2 年沙	学期		前期・後期			
担当	教員	遊	座 晶子	•		実務経験: 動物病院/動物看護師							
授業の	の概要、科	目の	つねらい、到達目	標									
外科	診療・手術	にま	おいて必要とされ	る動物	か看護師とし	ての	知識と役割	について	学習する。				
授業方法・形態 講義 講師 講師													
授業は講義を中心とする。													
					授業計	十画・	内容						
1	外傷・創	傷管	<b>萨理①</b>			2	術中補助	3					
3	外傷・創	傷管	7理②			4	術中補助	4					
5	外傷・創作	傷管	7理③			4	術中補助	5					
4	外傷・創	傷管	7理④			21)	術後管理①						
5	外傷・創	傷管	7理⑤			22	術後管理	2					
6	術前準備(	1)				23	術後管理	3					
7	術前準備	2				24)	術後管理	4					
8	術前準備	3				25							
9	術前準備	4				26	物 救急救命①						
10	術前準備	5				27)	② 救急救命②						
11)	麻酔①					28	救急救命③						
12	麻酔②					29	29 救急救命④						
13	麻酔③					30	③ 救急救命⑤						
14)	麻酔④					31)	動物理学	療法①					
15	麻酔⑤					32	動物理学	療法②					
16	術中補助	1				33	動物理学	療法③					
(17)						34)	動物理学	療法④					
評価	方法		出席状況、筆記記	試験を	考慮して成	績を	評価する						
受講	生に対する	5	主に手術の準備、	補助	力、術が管理	  を中	心に、動物	看護師の	役割、動きる				
メッ	セージ												
教科	書・参考書	• 雀	 資料・参考文献										
+ b		ゲ 		¥4.	111454	<del></del>	) -P1						

書名:「動物看護コアテキスト 第4巻」 出版社 ファームプレス

書名:「伴侶動物解剖生理学」 出版社 緑書房

授業科目	動物臨床看護学総語	論 	実務経験のある教員等による授業科目						
必修・選択	必修		時	間数	34	4 時間			
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2	年次	学期	前期・後期			
担当教員	遊座晶子		実務経験:	動物病院	/動物看護師				
授業の概要、科	目のねらい、到達目	標							
動物看護師の役	割、目的などを明確	に理解し、臨床基	現場に於いて	の動物看	護師の役割につ	ついて学習する。			
授業方法・形態	講義	講師							
授業は講義を中	心とする。	<b>-</b>	<b>-</b>	<u> </u>	<b>"</b>				
		授業	計画・内容						
①	動物看護過程	の展開①							
2	動物看護過程	の展開②							
3	動物看護過程	の展開③							
4	動物看護過程	の展開④							
5	動物看護過程	の展開⑤							
6	動物看護過程	の展開⑥							
7	診療記録①								
8	診療記録②								
9	動物看護業務	1)							
10	動物看護業務	2							
(1)	動物看護業務	3							
12	動物看護業務	4							
13	動物看護業務	5							
14	動物看護業務	6							
15	ターミナルケ	ア①							
16	ターミナルケ	ア②							
17)	ターミナルケ	ア③							
評価方法	出席状況、筆	記試験を考慮して	て成績を評価	する					
受講生に対する	5メ 動物病院での	動物看護師の役割	引を理解し、	基本的な	看護の知識を身	身につける。			
	・資料・参考文献								

授業和	業科目動物臨床看護学各論						実務経験のある教員等による授業科目						
必修	・選択	必	修			時間	数			136	時間		
科目記	设置学科	愛	玩動物看護師	開請	<b>掌</b> 学年		2	年次	学期		前期・	<ul><li>後期</li></ul>	
担当	<b>教</b> 員	水	野 恵理子 実務	8経験	:研究所・真	動物病	院/	研究員	・獣医師	币			
授業の	の概要、科	目の	つねらい、到達目標	漂									
動物表	看護師の役	割、	目的などを明確し	に理解	解し、臨床現	場に加	於いて	の動物	物看護師	の役割につい	ヽて学習	望する。	
授業	方法・形態		講義		講師								
授業は講義を中心とする。													
	授業計画・内容												
1	動物看護	学根	<b>在論</b> ①			18	症状	別の動	物看護	~多飲多尿②	)~		
2	動物看護	学根	<b>活</b>			19	循環	器障害	を持つ	動物の看護①			
3	動物看護	者の	)倫理綱領			20	循環	器障害	を持つ	動物の看護②			
4	動物看護	の看	<b>i</b> 護技術について			21)	呼吸器障害を持つ動物の看護①						
(5)	動物看護	の観	察			22	呼吸	:器障害	を持つ	動物の看護②			
6	記録と報	告				23	栄養	摂取·	代謝障	害を持つ動物	かの看護	[1]	
7	症状別の	<b>別看護~痛み①~</b>		24	栄養	摂取·	代謝障	害を持つ動物	かの看護	<b>養②</b>			
8	症状別の	動物	看護~痛み②~			25	生体	防御機	能障害	を持つ動物の	)看護(1	)	
9	症状別の	動物	<b>酒看護~かゆみ①~</b>	~		26	生体防御機能障害を持つ動物の看護②						
10	症状別の	動物	<b>酒看護~かゆみ②~</b>	~		27)	神経・運動機能障害を持つ動物の看護①						
(1)	症状別の	動物	7看護~嘔吐①~			28	神経・運動機能障害を持つ動物の看護②						
12	症状別の	動物	7看護~嘔吐②~			29	繁殖機能障害を持つ動物の看護						
13	症状別の	動物	7看護~排便異常(	1)~		30	排泄機能障害を持つ動物の看護						
<u>(14)</u>	症状別の	動物	7看護~排便異常(	2)~		31)	担が	ん動物	の看護				
15	症状別の	動物	看護~食欲不振(	1)~		32	高齢	動物の	看護				
16	症状別の	動物	看護~食欲不振(	2)~		33	経過	に基つ	がく動物	の看護			
17)	症状別の	動物	看護~多飲多尿(	1)~		34)	周術	期の動	物の看	護			
評価	方法		出席状況、筆記詞	式験を	考慮して成	績を評	平価す	·る					
受講	受講生に対する												
	メッセージ												
教科	教科書・参考書・資料・参考文献												
書名	書名:「動物看護コアテキスト 第 5 巻」 出版社 ファームプレス												

授業	科目	重	物臨床栄養	養学			実務	务経験	のある	る教員等に	こよる授業和	斗目
必修	・選択	业	必修				時間	引数			68	時間
科目	設置学科	爱	愛玩動物看詞	蒦師	開請	<b></b> 孝年		1	年次	学期		前期・後期
担当	教員	遊	整座 晶子	実務紹	<b>経験</b> :	動物病院/	動物看	護師				
授業	の概要、科	目(	のねらい、	到達目	標							
動物	の健康維持	に	必要な栄養	素を学	び、食	司い主に対	する栄	養相談	後及び	指導を行	う際の基礎	知識を学習する。
			T			ı	1					
授業	方法・形態		講義			講師						
授業	は講義を中	心	とする。									
	Γ					授業	計画・	内容				
1	動物栄養	学約	総論①				18	ペッ	トフ・	ードの種	類	
2	動物栄養	学約	総論②				19	各論	i:尿	路結石/猫	下部尿路疾	患
3	基礎栄養	学					20	各論	i:心	蔵病		
4	水						21)	各論	i:消付	化器病		
5	タンパク	質					22	各論	i:腎	蔵病		
6	炭水化物						23	各論	i:肝	<b>蔵病</b>		
7	脂肪						24)	各論	i:口原	控疾患		
8	ミネラル						25	各論	i:糖/	录病		
9	ビタミン						26	各論	i:食	物アレル	ギー	
10	犬と猫の	栄	養要求の違	V \①			27)	各論	i : 関f	節炎		
11)	犬と猫の	栄	養要求の違	い②			28	各論	i:が/	<i>ل</i>		
12	ライフス	テー	ージ別の栄	養管理(	D		29	各論	i:脳(	の加齢を	認知障害	
13	ライフス	テー	ージ別の栄	養管理	2		30	各論	i:肥i	苘		
14)	ライフス	テー	ージ別の栄	養管理(	3		31)	各論	i:甲	<b></b>	亢進症	
15)	ペットフ	_	ドの表示の	見方①			32)	ペッ	トフ・	ード市場の	1)	
16	BCS 評価	<b>5</b> と	カロリー計	算の仕	方①		33	ペッ	トフ・	ード市場の	2	
17)	BCS 評価	iと	カロリー計	算の仕	方②		34)	ペッ	トフ・	ードに関	する規則と	まとめ
評価	方法		出席状況	、筆記記	試験を	考慮して反	戈績を	評価す	·る			
受講	生に対する	る										
	セージ	Ψ.										
			View dol	Lotal								
教科	書・参考書	• }	資料・参考	文献								
書名	:「動物看記	蒦 ニ	アテキス	ト 第2	2巻」	出版社	ファー	-ムプ	レス			

授業科目	動物臨床検査学		実務経験のある教員等による授業科目						
必修・選択	必修		時間数	68	時間				
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1 年次	学期	前期・後期				
担当教員	水野恵理子 実務経	験: 研究所・動物	病院/研究員・獣医師	、栗田 千裕	•				
授業の概要、科	目のねらい、到達目	標							
動物病院での動物	物看護師の役割を理	解し、基本的な検	食査の知識を身につけ、	病院での臨床	的応用可能な学習を				
する。									
授業方法・形態	講義	講師							
授業は講義を中	<b></b> ひとする。	<u> </u>		<u>.</u>					
		授業計	十画・内容						
1	臨床検査 概	論							
2	顕微鏡の名称	、倍率、条件、掉	作方法、メンテナンス						
3	糞便 の物理学	学性状検査							
4	糞便 の顕微鏡	竟学的検査							
5	尿の物理学的	性状検査と化学的	]検査						
6	尿の顕微鏡学	的検査							
7	血液の CBC t	 検査							
8	血液の生化学	 検査							
9	血液塗抹検査								
10	細胞診検査								
(1)	レントゲン検	査							
12	超音波検査								
13	心電図検査								
14	目の検査								
15	耳の検査								
16	皮膚の検査								
17)	試験								
評価方法	出席状況、筆	記試験を考慮して	 成績を評価する						
受講生に対する	メー動物病腔での	動物手雑師の犯生	   を理解し、基本的な検	本の知識な自	につける 動物的は				
文神生に刈りる			」を		10 717 20 第1796年月				
			・5 ノに在開て生作りる	0					
教科書·参考書	・資料・参考文献								

書名: 「動物看護コアテキスト 第5巻」 出版社 ファームブレス書名: 「動物看護コアテキスト 第6巻」 出版社 ファームプレス

授業	科目	動	物医療コミュニケ	アーシ	ョン	実務	<b> 終経験のあ</b>	る教員等	による授業	科目
必修	・選択	必	修			時間	<b>引数</b>		34	時間
科目	設置学科	愛	玩動物看護師	開講	<b>学</b> 年		2 年沙	マ 学期		前期・後期
担当	教員	遊	座 晶子 実務経	圣験: !	動物病院/	動物看	護師	•		•
授業の	の概要、科	目の	つねらい、到達目	標						
ホス	ピタリティ	精神	申を理解し、身だ	しなみ	メ、言葉遣い	'、立	ち居振る舞	いを身に	こつけ、コミ	ュニケーション能力
を習行	得する。									
授業	方法・形態		講義		講師					
授業は	は講義を中	心と	こする。							
					授業計	· 画·	内容			
1	接遇とは	• <b></b>	スピタリティとに	は		18	質問と傾	聴②		
2	社会人コ	ミュ	-ニケーション能	力の基	。礎	19	質問と傾	聴③		
3	飼い主の	お迫	D之①			20	電話対応	1)		
4	飼い主の	お迫	1え2			21)	電話対応	2		
(5)	飼い主の	お迫	<u></u> 1え③			22	電話対応	3		
6	飼い主の	お迫	Dえ④			23	電話対応	4		
7	診察室へ	の案	等内①			24	外部対応	1)		
8	診察室へ	の案	\$内②			25	外部対応	2		
9	薬の説明	1				26	外部対応	3		
10	薬の説明	2				27)	外部対応	4		
11)	薬の説明	3				28	緊急時の	対応①		
12	薬の説明	4				29	緊急時の	対応②		
13	清算業務	1				30	不快感情	の飼い主	対応	
14)	清算業務	2				31)	訪問と応	対のマナ	<b>—</b> ①	
15	清算業務	3				32	訪問と応	対のマナ	-2	
16	清算業務	4				33	訪問と応	対のマナ	-3	
17)	質問と傾	聴①	)			34)	深刻な場	での対応		
評価	方法		出席状況、筆記記	試験を	考慮して成	績を記	評価する			
受講	生に対する	5								
	セージ									
			- total - Zo to	1						
教科	書・参考書	• 資	資料・参考文献							
書名	:「動物看讀	隻コ	アテキスト 第5	5巻」	出版社	ファー	-ムプレス			

授業科目	動物形態機能学実習	Į Į	実務経験のある教員等による授業科目						
必修・選択	必修		時間数	51	時間				
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2 年次	学期	前期・後期				
担当教員	水野恵理子 実務経	験:研究所・動物	病院/研究員・獣医師	币、菅谷花歩	•				
授業の概要、科	目のねらい、到達目	標							
講義で習得した	知識の実践とし、動	物の生命維持の仕	に組みと解剖学及び生理	<b>里学の基礎を実</b>	習にて学習する。				
授業方法・形態	<b>議</b>	講師							
授業は講義を中	心とする。		1						
		授業計	十画・内容						
1)	運動器①								
2	運動器②								
3	運動器③								
4	運動器④								
5	内臓器官①								
6	内臓器官②								
7	内臓器官③								
8	内臓器官④								
9	顕微鏡の取扱	V \①							
10	顕微鏡の取扱	い②							
11)	顕微鏡の取扱	V v3							
12	顕微鏡の取扱	V V4							
(13)	組織像の観察	1)							
<b>(4)</b>	組織像の観察	2							
15	組織像の観察	3							
16	組織像の観察	4							
17)	組織像の観察	<u> </u>							
評価方法	出席状況、筆	記試験を考慮して	「成績を評価する						
受講生に対する	るメ								
ッセージ									
教科書・参考書	・資料・参考文献								
書名:「動物看記	護コアテキスト 第二	 1 巻」 出版社	ファームプレス						

授業科目	動物内科看護学実習	3	実務経験のある	教員等による	授業科目
必修・選択	必修		時間数		102 時間
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2 年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子 実務経	験: 研究所・動物:	病院/研究員・割	医師、栗田千	裕 実務経験動物病院/動
	物看護師:、大西恵	子 実務経験: 動物	ŋ病院/獣医師、 <sup>テ</sup>	菅谷花歩	
授業の概要、科目	目のねらい、到達目	標			
動物看護師の役割	割である心療内科での	 の補助看護技術を	習得する。		
授業方法・形態	実習	講師			
授業は実習を中心	 ひとする。				
		授業計	・画・内容		
1)	動物看護概論				
2	イヌ・ネコのイ	保定法① 概論			
3	イヌ・ネコのイ	保定法② 横臥位	・伏臥位・仰臥位	立・横臥位	
4	イヌ・ネコのイ	保定法③ 採血時	の犬の保定		
5	イヌ・ネコの	バイタルチェック	• 身体検査		
6	生体の正常・身	 異常 			
7	シリンジ・注射	射辛の扱い① 概	<u></u> 論		
8	シリンジ・注集	射針の扱い② 薬	剤の準備・無菌攅	· 操作	
9	調剤① 概論				
10	調剤② 処方領	箋・調剤用語			
11)	調剤③薬用	量の計算・調剤・	 分包		
12)	顕微鏡の取り打	扱い方			
13	糞便検査① #	既論			
<u>(14)</u>	糞便検査② 『	直接塗抹法・浮遊	 法		
15	尿検査① 概詞	篇 			
<u>(16)</u>	尿検査② 採馬	 录方法			
17	尿検査③ ペー	ーパー試験・尿沈	査・尿比重		
評価方法	授業時の課題、	、出席状況、受講:	態度を考慮して成	 対績を評価する	•
受講生に対する	メ 診療現場で必	 要な観察力及び看	護法に関する基本	             	こる。受講生は授業を通し
ッセージ	て、動物病院で	で働くための必要	な技術を習得でき	<b>さ</b> る。	
教科書・参考書	 ・資料・参考文献				

書名:「動物看護コアテキスト 第4巻」 出版社 ファームプレス

授業科目	動物	物臨床検査学実習			実務経験のあ	る教員等に	こよる授業	科目			
必修・選択	必何	<b>爹</b>			時間数	(	102	時間			
科目設置学科	愛野	元動物看護師	ŀ	開講学年	2 年沙	7	学期	前期・後期			
担当教員	水野	野恵理子 実務経験	<b>倹</b> : 石	所究所・動物	動物病院/研究員・獣医師、栗田千裕 実務経験:動物病院/						
	動物	物看護師、菅谷花	歩								
授業の概要、科	・目の	ねらい、到達目標	票								
講義で習得した	知識	の実践とし、診療	<b>寮現場</b>	場で必要な検	体検査及び生体	検査に関	する基本的	り手技を習得する。			
授業方法・形態	態	実習		講師							
実習を中心にグ	゛ルー	プワークを行う。	受討	黄生間で意見	しを出し合い、自	分自身の	臨床検査の	の正確さと動物看護技			
術の向上を目指	す。										
				授業計	画・内容						
1)		臨床検査 概認	<b>1</b>	目的・意義							
2		臨床検査 概認	124	<b>E体の観察・</b>	検査項目						
3		臨床検査 概論	<b>論③</b> フ	スクリーニン	グ検査について						
4		検体処理 概論	<b>1</b>	目的・意義							
5		検体処理 概認	<b>2</b> 核	食査項目の選	択						
6		検体処理 採済	大方法	と・保存方法	•						
7		検体処理 血液	技抗资	超材							
8		顕微鏡 概論①	各音	8名称							
9		顕微鏡 概論②	操作	手法・メンテ	ナンス法						
10		顕微鏡 倍率・	条件	Ė.							
(1)		顕微鏡 スライ	ドの	)管理・保管	: 						
12		血液検査 概認	Ħ								
13		血液検査 CB	C 検	<u> </u>							
<u>(14)</u>		血液検査 ①f	1液道	注抹標本							
15			1液道	注抹標本							
16		血液検査 生化	/学校	查							
17)		血液検査 輸血	1・ク	ロスマッチ							
評価方法		血液塗抹標本の	作製	製による実技	試験。そのほか	受講態度	・出席状況	兄を考慮して成績を評			
		価する。									
受講生に対する	るメ	本講義では、ク	ブルー	ープワークに	よって講義が進	むため、	受講生間の	の実技や理解度の差を			
ッセージ		埋めることがで	できる	ら。そのため	評価は受講生間	・教員と	のコミュニ	ニケーションを重視す			
		る。他人の意見	しに耳	¥を傾ける・	自分の意見を発	言するこ	とをこの記	<b>講義を通して身につけ</b>			
	1	ていてほしい。									
教科書・参考書	• 1	書名:「動物看護	コアラ	テキスト 第	写 5 巻」 出版社	上 ファー	ムプレス				
資料・参考文献											

授業科目		動	物外科看護実習			実務	<b> 終経験のある</b>	る教員等	による授業	<b></b>
必修・選	択	必				時間	間数		10	02 時間
科目設置	学科	愛	玩動物看護師	開請	<b></b>		2 年次	学期		前期・後期
担当教員		水!	野恵理子 実務	経験:	研究所・動物	勿病院	/研究員・	獣医師、	栗田千裕	実務経験:動物病院/
		動	物看護師、大西原	恵子 第	実務経験: 重	物病	院/獣医師	、菅谷花	步	
授業の概	要、科	目の	ねらい、到達目	標						
動物看護	師の役	割で	がある外科手術で	がの補助	め看護技術を	∠習得	する。			
授業方法	・形態		講義		講師					
授業は実	習を中心	ひと	する。							
					授業記	画・	内容			
① 術	前準備	1				18	術後管理			
② 術	前準備	12				19	術後管理	12		
③ 術	前準備	13				20	術後管理	<b>E</b> 3		
④ 術	前準備	14				21)	術後管理	<b>4</b>		
⑤ 術	前準備	5				22	術後管理	<b>E</b> 5		
⑥ 術	前準備	6				23	術後管理	<b>E</b> 6		
⑦ 術	前準備	7				24)	術後管理	<b>E</b> 7		
8 術	前準備	18				25	術後管理	18		
9 術	前準備	19				26	救急救命	<u>(</u> )f		
⑩ 術	中補助	J(1)				27)	救急救命	12		
⑪ 術	中補助	J2)				28	救急救命	®f		
⑩ 術	中補助	J3)				29	救急救命	<del>1</del> 4		
⑬ 術	中補助	J4)				30	救急救命	35		
⑭ 術	中補助	J(5)				31)	救急救命	<del>3</del> 6		
⑤ 術	中補助	J6				32	救急救命	7		
⑯ 術	中補助	J(7)				33	救急救命	<b>8</b> f		
⑪ 術	中補助	J®				34)	救急救命	<b>@</b> f		
評価方法			出席状況、筆記	試験を	さ考慮して成	え績を言	評価する			
受講生に	対する	5								
メッセー	ジ									
教科書・	参考書	• 資	 f料・参考文献							
書名:「動	物看護	きコブ	アテキスト 第	 4 巻」	 出版社	ファー	ームプレス			

授業科目	動物臨床看護学実習	]	実務経験のある教員等による授業科目					
必修・選択	必修		時間数		51 時間			
科目設置学科	愛玩動物看護師	2 年次	学期		前期・後期			
担当教員	水野恵理子 実務経	験:研究所・動物	病院/研究員・獣	医師、	栗田千裕 実	務経験:動物病院/		
	動物看護師、千ヶ崎	みゆき 実務経験	倹:動物病院/獣医	師				

臨床現場にておいての動物看護師の役割について、実践の場で習得する。

授業方法・形態 実習 講師

講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な臨床に関する基本的手技を習得する。

#### 授業計画・内容

1	動物看護 概論	18	輸液管理⑤ エラーコードの管理
2	動物看護の目的・意義	19	輸液管理 小テスト
3	動物看護の準備・心構え	20	輸液管理 小テスト
4	解剖生理学① 概論	21)	シリンジ・注射針の扱い① 概論
(5)	解剖生理学② 筋・骨格	22	シリンジ・注射針の扱い② 無菌操作
6	解剖生理学③ 消化器・肝臓・膵臓	23)	シリンジ・注射針の扱い③ 薬剤の準備
7	解剖生理学④ 心臓・肺	24)	衛生管理・入院管理① 概論
8	解剖生理学⑤ 腎臓・脾臓	25	衛生管理・入院管理② 感染源の理解
9	診療補助① 概論	26	衛生管理・入院管理③ 掃除
10	診療補助② 犬・猫の保定	27)	衛生管理・入院管理④ 入退院
11)	診療補助③ バイタル検査	28	グルーミング実習①
12	診療補助④ 身体検査	29	グルーミング実習②
13	診療補助⑤ 生体の正常・異常	30	グルーミング実習③
<u>(14)</u>	輸液管理① 概論	31)	グルーミング実習④
15	輸液管理② 輸液ラインの接続	32)	グルーミング実習⑤
16	輸液管理③ 設定	33	グルーミング実習⑥
17)	輸液管理④ 観察・輸液量の確認	34)	グルーミング実習⑦

評価方法 授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。

メッセージ

受講生に対する 即戦力として病院で働けることを目指す。動物看護学で習った知識を応用させ、技術の習 得を目指す。

### 教科書・参考書・資料・参考文献

書名:「動物看護コアテキスト 第3巻」 出版社 ファームプレス 書名:「動物看護コアテキスト 第4巻」 出版社 ファームプレス 書名:「動物看護コアテキスト 第5巻」 出版社 ファームプレス

授業科目	動物看護総合実習		実務経験のある教員等による授業科目							
必修・選択	必修		時間数		187	時間				
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2 年次	学期		前期・後期				
担当教員	水野恵理子 実務経	験: 研究所・動物	病院/研究員・獣	医師、	栗田千裕	実務経験:動物病院				
	<b>/動物看護師</b>									
授業の概要、科	目のねらい、到達目標	票								

動物病院内で想定される内科、外科そのほかの診療や検査の手順と準備、補助などを総合的に実習にて学習す る。

授業方法・形態 実習 講師

実習を中心にグループワークを行う。受講生間で意見を出し合い、自分自身の臨床検査の正確さと動物看護技 術の向上を目指す。

	授業計画・内容
①	動物看護業務の理解①
2	動物看護業務の理解②
3	動物看護業務の理解③
4	動物看護業務の体験①
5	動物看護業務の体験②
6	動物看護業務の体験③
7	動物看護業務の体験④
8	動物看護業務の体験⑤
9	動物看護業務の体験⑥
10	動物看護業務の体験⑦
11)	動物看護業務の実践①
12	動物看護業務の実践②
13	動物看護業務の実践③
14	動物看護業務の実践④
15	動物看護業務の実践⑤
16	動物看護業務の実践⑥
17	動物看護業務の実践⑦
評価方法	授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメ	
ッセージ	

教科書・参考 書名:「動物看護コアテキスト 第4巻」 出版社 ファームプレス

書・資料・参考 書名:「動物看護コアテキスト 第5巻」 出版社 ファームプレス

文献

授業	科目	動	物臨床看護各論Ⅱ			実	<b>察経験のある</b>	教員等に。	よる授業科		
必修	• 選択	必	修			時	間数		136	時間	
科目	設置学科	愛	玩動物看護師	開諱	<b>孝学年</b>	3 年次 学期 前期・後期					
担当	教員	水	野恵理子 実務経験	験:斫	开究所・動物	物病院	/研究員・曽	<b></b>			
授業	の概要、科	目の	Dねらい、到達目t	票							
動物	看護師の役	割、	目的などを明確し	こ理解	解し、臨床	見場に	おいての動物	物看護師の	役割につい	へて学習する。	
授業	方法・形態		実習		講師						
講義	で習得した	知誰	畿の実践とし、診療	<b></b> 療現場	景で必要な	塩床に	関する基本的	り手技を習	得する。		
					授業	計画・	内容				
1	徴候や変	息	の理解と対処の	)確認	图①	18	内分泌疾	患の確認	と応用②		
2	徴候や変	息	の理解と対処の	)確認	<b>忍</b> ②	19	生殖器疾	患の確認	と応用①	)	
3	全身徵例	きの	確認と応用①			20	生殖器疾	患の確認	と応用②		
4	全身徵例	きの	確認と応用②			21)	整形外科疾患の確認と応用①				
(5)	特異的領	收候		)		22	整形外科疾患の確認と応用②				
6	特異的領	收候	の確認と応用②	2)		23	皮膚疾患	の確認と	応用①		
7	特異的症	<b></b> 「態	の確認と応用①	.)		24	皮膚疾患	の確認と	応用②		
8	特異的症	可態	の確認と応用②	2)		25	神経疾患	の確認と	応用①		
9	循環器療	思	の確認と応用①	)		26	神経疾患	の確認と	応用②		
10	循環器療	思	の確認と応用②	2)		27)	眼疾患の確認と応用①				
11)	呼吸器療	思	の確認と応用①	)		28	眼疾患の確認と応用②				
12	呼吸器療	患	の確認と応用②			29	造血器・免疫介在性疾患の確認と応用①				
13	消化器·	栄.	養代謝性疾患の確	確認。	と応用①	30	造血器・免疫介在性疾患の確認と応用②				
14)	消化器·	栄	養代謝性疾患の研	確認。	と応用②	31)	緊急疾患	の確認と	応用①		
15	泌尿器療	思	の確認と応用①	)		32	緊急疾患	の確認と	応用②		
16	泌尿器療	思	の確認と応用②			33	担がん動	物の看護	の確認と	: 応用①	
17)	内分泌疫	思	の確認と応用①			34)	担がん動	物の看護	の確認と	: 応用②	
評価	<u>.</u> 方法		授業時の課題、出	出席状	沈、受講館	態度を	考慮して成績	責を評価す	る。		
受講	生に対する	5									
	セージ										
教科	書・参考書	• 資	資料・参考文献								
<b>主</b> 夕	· 「	崔一	アテキスト 第 <b>5</b>	<b>光</b> 」	出版社	ファー	ームプレス				

授業科目	動物内科看護学実習	 ∄∏	実利	<b> 発経験のある</b>	数員等に	よる授業和	
必修・選択	必修			引数		102	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	+ -	3 年次	学期		前期・後期
担当教員		<u> </u>	 物病院			田千裕	実務経験:動物病院/
, ,,,,	動物看護師、大西惠						
	目のねらい、到達目						
	割である内科診療で		を習得 <sup>・</sup>	 する。			
授業方法・形態	実習	講師					
講義で習得した	知識の実践とし、診	療現場で必要な問	塩床に	関する基本的	手技を習	得する。	
		授業	計画・	内容			
<ol> <li>身体検査</li> </ol>	至の確認と応用①		18	輸液・輸品	血の技術	ずの確認 と	と応用②
② 身体検査	至の確認と応用②		19	輸液・輸品	血の技術	5の確認 と	と応用③
③ 身体検査	至の確認と応用③		20	輸液・輸品	血の技術	所の確認 と	上応用④
<ul><li>④ 身体検査</li></ul>	至の確認と応用④		21)	輸液・輸品	血の技術	所の確認 と	と応用⑤
⑤ 身体検査	至の確認と応用⑤		22	輸液・輸品	血の技術	所の確認 と	上応用⑥
⑥ 身体検査	至の確認と応用⑥		23	輸液・輸品	血の技術	所の確認 と	と応用⑦
⑦ 身体検査	至の確認と応用⑦		24)	輸液・輸血	血の技術	奇の確認 と	上応用⑧
8 身体検査	至の確認と応用⑧		25)	マイクロチ	ニップ装	着の技術	の確認と応用①
9 診察補助	めの確認と応用①		26	マイクロチ	ニップ装	着の技術	の確認と応用②
⑩ 診察補助	めの確認と応用②		27)	生体検査の	の確認と	: 応用①	
<ul><li>① 診察補助</li></ul>	めの確認と応用③		28	生体検査の	の確認と	応用②	
② 診察補助	かの確認と応用④		29	生体検査の	の確認と	応用③	
③ 診察補助	めの確認と応用⑤		30	生体検査の	の確認と	応用④	
4 診察補助	かの確認と応用⑥		31)	生体検査の	の確認と	応用⑤	
⑤ 診察補助	かの確認と応用⑦		32	生体検査の確認と応用⑥			
16 診察補助	かの確認と応用⑧		33	生体検査の	の確認と	:応用⑦	
⑩ 輸液・軸	<b>輸血の技術の確認</b> る	と応用①	34)	生体検査の	の確認と	応用⑧	
評価方法	授業時の課題、と	出席状況、受講館	態度を	考慮して成績	を評価す	~る。	
受講生に対する	3						
メッセージ							
教科書・参考書	 ・資料・参考文献						

書名:「動物看護コアテキスト 第 4 巻」 出版社 ファームプレス

授業科目	動物臨床検査学実習Ⅱ			実務経験のある教員等による授業科目					
必修・選択	必修	多		時間数		102	時間		
科目設置学科	愛玩	元動物看護師	開講学年	3 年次		学期	前期・後期		
担当教員	水里	野恵理子 実務経験	験: 研究所・動物	病院/研究員・	獣医師、	栗田千裕	実務経験:動物病院		
	/重	動物看護師、菅谷	花歩						
授業の概要、科	・目の	ねらい、到達目	票						
講義で習得した	知識	の実践とし、診り	療現場で必要な検	体検査及び生体	検査に関	する基本的	り手技を習得する。		
授業方法・形態	態	実習	講師						
実習を中心にグ	゛ルー	プワークを行う。	受講生間で意見	を出し合い、自然	分自身の	臨床検査の	の正確さと動物看護技		
術の向上を目指	it。								
			授業計	・画・内容					
1)	① 検体検査手順の確認と応用								
2		検体検査手順	頁の確認と応用	2					
3	検体検査手順の確認と応								
4		検体検査手順	頁の確認と応用	4					
5		検体検査手順	頁の確認と応用	5					
6		血液検査の確	<b>全認と応用①</b>						
7		血液検査の確	<b>全認と応用②</b>						
8		血液検査の確	<b>雀認と応用③</b>						
9		尿検査の確認	8と応用①						
10		尿検査の確認	8と応用②						
11)		尿検査の確認	8と応用③						
12		糞便検査の確	館と応用①						
13		糞便検査の確	<b>É認と応用②</b>						
<u>(4)</u>		糞便検査の確	<b>雀認と応用③</b>						
15		細胞検査の確	館と応用①						
16		細胞検査の確	館認と応用②						
17)		細胞検査の確	<b>雀認と応用③</b>						
評価方法		授業時の課題、	出席状况、受講	態度を考慮して原	成績を評価	価する。			
受講生に対する	るメ								
ッセージ									
教科書・参考書		<u></u> 書名:「動物看護	コアテキスト 第	55巻」 出版社	ファー	・ムプレス			
資料・参考文献	ì								

授業科目	受業科目 動物外科看護学実習Ⅱ			実務経験のある教員等による授業科目					
必修・選択	必修・選択 必修			時	時間数			)2 時間	
科目設置学	科	愛玩動物看護師	開講学年		3 年次	学期		前期・後期	
担当教員		水野恵理子 実務網	圣験: 研究所・動	物病院	三/研究員・獣	医師、見	栗田千裕	実務経験:動物病院/	
		動物看護師、大西原	恵子 実務経験:!	動物病	院/獣医師、	菅谷花	歩		
授業の概要	、科目	目のねらい、到達目	標						
動物看護師	の役割	削である外科手術で	の補助看護技術	を習得	する。				
		1					1		
授業方法•	形態	実習	講師						
講義で習得	した知	田識の実践とし、診	療現場で必要な	臨床に	関する基本的	手技を	習得する。		
			授業	計画・	内容				
① 術前	準備	の確認と応用①		18	術後管理	の確認	と応用①	)	
② 術前	準備	の確認と応用②		19	術後管理	の確認	と応用②	)	
③ 術前	準備	の確認と応用③		20	術後管理	の確認	と応用③	)	
④ 術前	準備	の確認と応用④		21)	術後管理	の確認	と応用④	)	
⑤ 術前	<b>ĭ準備</b>	の確認と応用⑤		22	術後管理	の確認	と応用⑤	)	
⑥ 術前	準備	の確認と応用⑥		23	術後管理	の確認	と応用⑥	)	
⑦ 術前	<b>j</b> 準備	の確認と応用⑦		24)	術後管理	の確認	と応用⑦	)	
⑧ 術前	<b>j</b> 準備	の確認と応用⑧		25	術後管理	の確認	と応用®	)	
9 術前	<b>j</b> 準備	の確認と応用⑨		26	救急救命	の確認	と応用①	)	
⑩ 術中	補助	の確認と応用①		27)	救急救命	の確認	と応用②	)	
⑪ 術中	補助	の確認と応用②		28	救急救命	の確認	と応用③	)	
⑫ 術中	補助	の確認と応用③		29	救急救命	の確認	と応用④	)	
③ 術中	術中補助の確認と応用④			30	救急救命	の確認	と応用⑤	)	
④ 術中	術中補助の確認と応用⑤			31)	救急救命	の確認	と応用⑥	)	
⑤ 術中	補助	の確認と応用⑥		32)	救急救命	の確認	と応用⑦	)	
16 術中	補助	の確認と応用⑦		33	救急救命の確認と応用®				
⑰ 術中	補助	の確認と応用⑧		34)	救急救命	の確認	と応用⑨	)	
評価方法		授業時の課題、	出席状況、受講的	態度を	考慮して成績	を評価で	する。		
□ 誰 屮 /ァ ¹	+ ナ ァ								
受講生に対									
-		 ・資料・参考文献							
		コアテキスト第	<u> </u>		ームプレス				

授業科目	動物臨床看護学実習	実務経験のある教員等による授業科目					
必修・選択	必修	時間数			102 時間		
科目設置学科	愛玩動物看護師 開講学年		3	年次	学期		前期・後期
担当教員	水野恵理子 実務経験:研究所・動物病院/研究員・獣医師、栗田千裕 実務経験:動物病院/						
	動物看護師、千ヶ崎	みゆき 実務経験	倹:動物病院/	/動物	看護師		

臨床現場においての動物看護師の役割について、実勢の場で習得をする。

授業方法・形態 実習 講師

講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な臨床に関する基本的手技を習得する。

#### 授業計画 • 内容

1	動物看護過程の実践の確認と応用①	18	動物看護過程の実践の確認と応用®
2	動物看護過程の実践の確認と応用②	19	動物看護過程の実践の確認と応用⑩
3	動物看護過程の実践の確認と応用③	20	動物看護過程の実践の確認と応用⑩
4	動物看護過程の実践の確認と応用④	21)	入院及び栄養管理の確認と応用①
5	動物看護過程の実践の確認と応用⑤	22	入院及び栄養管理の確認と応用②
6	動物看護過程の実践の確認と応用⑥	23	入院及び栄養管理の確認と応用③
7	動物看護過程の実践の確認と応用⑦	24	入院及び栄養管理の確認と応用④
8	動物看護過程の実践の確認と応用⑧	25	入院及び栄養管理の確認と応用⑤
9	動物看護過程の実践の確認と応用⑨	26	入院及び栄養管理の確認と応用⑥
10	動物看護過程の実践の確認と応用⑩	27	入院及び栄養管理の確認と応用⑦
11)	動物看護過程の実践の確認と応用⑪	28	入院及び栄養管理の確認と応用⑧
12	動物看護過程の実践の確認と応用⑫	29	入院及び栄養管理の確認と応用⑨
13	動物看護過程の実践の確認と応用⑬	30	入院及び栄養管理の確認と応用⑩
14)	動物看護過程の実践の確認と応用値	31)	入院及び栄養管理の確認と応用⑪
15	動物看護過程の実践の確認と応用⑮	32	入院及び栄養管理の確認と応用⑫
16	動物看護過程の実践の確認と応用⑯	33	入院及び栄養管理の確認と応用⑬
17)	動物看護過程の実践の確認と応用⑰	34)	入院及び栄養管理の確認と応用⑭

評価方法

授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。

受講生に対する

メッセージ

教科書・参考書・資料・参考文献

書名:「動物看護コアテキスト 第4巻」 出版社 ファームプレス

書名:「動物看護コアテキスト 第5巻」 出版社 ファームプレス

授業科目	動物看護総合実習Ⅱ	[	実務経験のある教員等による授業科目				
必修・選択	必修		時間数	187	時間		
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	3 年次	学期	前期・後期		
担当教員	水野恵理子 実務経	験: 研究所・動物	病院/研究員・獣	· 送医師、栗田千裕	実務経験:動物病院		

動物病院内で想定される内科、外科そのほかの診療や検査の手順と準備、補助などを総合的に実習にて学習する。

実習を中心にグループワークを行う。受講生間で意見を出し合い、自分自身の臨床検査の正確さと動物看護技 術の向上を目指す。

	授業計画・内容
①	動物看護業務の確認と発展①
2	動物看護業務の確認と発展②
3	動物看護業務の確認と発展③
4	動物看護業務の体験と応用①
5	動物看護業務の体験と応用②
6	動物看護業務の体験と応用③
7	動物看護業務の体験と応用④
8	動物看護業務の体験と応用⑤
9	動物看護業務の体験と応用⑥
10	動物看護業務の体験と応用⑦
(1)	動物看護業務の実践と応用①
12	動物看護業務の実践と応用②
13	動物看護業務の実践と応用③
14	動物看護業務の実践と応用④
15	動物看護業務の実践と応用⑤
16	動物看護業務の実践と応用⑥
17)	動物看護業務の実践と応用⑦
評価方法	授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメ	
ッセージ	
教科書・参考書・資料	計・ 書名:「動物看護コアテキスト 第3巻」 出版社 ファームプレス

参考文献

書名:「動物看護コアテキスト 第 4 巻」 出版社 ファームプレス

書名:「動物看護コアテキスト 第5巻」 出版社 ファームプレス

担当教員 水野 授業の概要、科目の 動物の取扱い、飼い	玩動物看護師   野恵理子 実務経験   おらい、到達目標   まとのコミュニケ   実習   プワークを行う。   動物の基本的   動物の基本的   動物の基本的   動物の基本的   動物の基本的   動物の基本的   動物の基本的   動物の基本的	ボーション、動愛 講師 受講生間で意見 授業計 な取扱い① な取扱い② な取扱い③ な取扱い④ な取扱い④	法について学習す	る。		前期・後期			
担当教員 水野 授業の概要、科目の動物の取扱い、飼い 授業方法・形態 実習を中心にグルー 術の向上を目指す。 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑦ ⑧ ⑨ 9	野恵理子 実務経験 おらい、到達目標 かまとのコミュニケ 実習 プワークを行う。 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的	<ul> <li>研究所・動物</li> <li>一ション、動愛</li> <li>講師</li> <li>受講生間で意見</li> <li>授業計な取扱い①</li> <li>な取扱い②</li> <li>な取扱い③</li> <li>な取扱い④</li> <li>な取扱い⑤</li> </ul>	病院/研究員・獣 法について学習す を出し合い、自分	医師る。					
授業の概要、科目の 動物の取扱い、飼い 授業方法・形態 実習を中心にグルー 術の向上を目指す。 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ 8 ⑨	対している。   対している	ボーション、動愛 講師 受講生間で意見 授業計 な取扱い① な取扱い② な取扱い③ な取扱い④ な取扱い④	法について学習す と出し合い、自分	る。	末検査の	正確さと動物看護:			
動物の取扱い、飼い 授業方法・形態 実習を中心にグルー 術の向上を目指す。 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ 8 ⑨	<ul><li>主とのコミュニケ</li><li>実習</li><li>プワークを行う。</li><li>動物の基本的</li><li>動物の基本的</li><li>動物の基本的</li><li>動物の基本的</li><li>動物の基本的</li><li>動物の基本的</li><li>動物の基本的</li></ul>	ーション、動愛 講師 受講生間で意見 授業計 な取扱い① な取扱い② な取扱い③ な取扱い④ な取扱い⑤	を出し合い、自分		末検査の	正確さと動物看護:			
授業方法・形態 実習を中心にグルー 術の向上を目指す。 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑥ ⑦ 8 ⑨	実習 プワークを行う。 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的	講師 受講生間で意見 授業計 な取扱い① な取扱い② な取扱い③ な取扱い④ な取扱い④	を出し合い、自分		末検査の	正確さと動物看護			
実習を中心にグルー 術の向上を目指す。 ① ② ③ ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ 8 ⑨	<ul><li>プワークを行う。</li><li>動物の基本的動物の基本的動物の基本的動物の基本的動物の基本的動物の基本的動物の基本的動物の基本的動物の基本的動物の基本的</li></ul>	受講生間で意見 授業計 な取扱い① な取扱い② な取扱い③ な取扱い④ な取扱い⑤		自身の臨尿	末検査の	正確さと動物看護			
新の向上を目指す。 ① ② ③ ③ ④ ⑤ ⑥ ⑥ ⑦ ⑧  9	動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的	授業計 な取扱い① な取扱い② な取扱い③ な取扱い④ な取扱い⑤		自身の臨尿	末検査の	正確さと動物看護			
① ② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧	動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的	な取扱い① な取扱い② な取扱い③ な取扱い④ な取扱い④	画・内容						
② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧  ⑨	動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的	な取扱い① な取扱い② な取扱い③ な取扱い④ な取扱い④	画・内容						
② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的	な取扱い② な取扱い③ な取扱い④ な取扱い⑤							
② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧  ⑨	動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的	な取扱い② な取扱い③ な取扱い④ な取扱い⑤							
<ul><li>4</li><li>5</li><li>6</li><li>7</li><li>8</li><li>9</li></ul>	動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的	な取扱い③ な取扱い④ な取扱い⑤							
<ul><li>⑤</li><li>⑥</li><li>⑦</li><li>⑧</li></ul>	動物の基本的 動物の基本的 動物の基本的	な取扱い④ な取扱い⑤							
6 7 8 9	動物の基本的			動物の基本的な取扱い④					
(7) (8) (9)									
8		な取扱い⑥							
9	飼い主とのコ	ミュニケーシ	ョン①						
	飼い主とのコ	ミュニケーシ	ョン②						
10)	飼い主とのコ	ミュニケーシ	ョン③						
<u> </u>	飼い主とのコ	ミュニケーシ	ョン④						
11)	飼い主とのコ	ミュニケーシ	ョン⑤						
12	動物愛護管理	行政①							
13	動物愛護管理	行政②							
<b>(4)</b>	動物愛護管理	行政③							
15	動物愛護管理	行政④							
16	動物愛護管理	行政⑤							
評価方法	授業時の課題、	出席状況、受講	態度を考慮して成	績を評価す	-る。				
受講生に対するメ									
ッセージ									
教科書・参考書・	- 書名 : 「動物看護コ	アテキスト 第	2 巻」 出版社	ファーム	プレス				
資料・参考文献	書名 : 「動物看護コ	アテキスト 第	6 巻」 出版社	ファーム	プレス				